



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 三櫻工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6584 URL <http://www.sanoh.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 篠原 利幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務管理部長

(氏名) 篠原 良幸

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 0280-33-1121

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	43,848	24.5	2,054	119.4	1,743	139.6	909	167.1
24年3月期第2四半期	35,226	△13.2	936	△76.7	727	△80.1	341	△82.3

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 408百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △63百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	24.99	—
24年3月期第2四半期	9.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	70,220	35,152	47.8	922.29
24年3月期	70,768	35,106	47.4	922.49

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 33,568百万円 24年3月期 33,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.50	—	9.50	19.00
25年3月期	—	10.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.50	21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,400	17.5	3,500	6.8	3,100	8.7	1,600	86.9	43.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	37,112,000 株	24年3月期	37,112,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	715,842 株	24年3月期	715,778 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	36,396,196 株	24年3月期2Q	36,599,667 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響による停滞からのゆるやかな景気回復傾向にありますが、海外では新興国を中心に景気の拡大傾向が続いているものの、米国や中国での景気減速や欧州での金融不安などにより、先行きへの不透明感が続いております。

自動車業界におきましては、円高の継続やガソリン価格の高止まりなど不安材料はあったものの、東日本大震災からの復興とエコカー減税による内需および新興国での市場の拡大により、生産・販売ともに前年同期を上回る状況となりました。

このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、顧客である自動車メーカーの生産回復が大きく影響し、前年同期と比べて生産が大幅に増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は438億48百万円（前年同期比24.5%増加）となりました。また、利益面につきましては、構造改革によるコスト削減等の効果により、経常利益は17億43百万円（前年同期比139.6%増加）、当期純利益は9億9百万円（前年同期比167.1%増加）と増益となりました。

製品別では、車輛配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレージング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）、および車輛安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も、前年同期と比較して売上が増加いたしました。

所在地別セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

東日本大震災の影響による自動車減産からの回復により取引先自動車メーカー各社からの受注が増加いたしました結果、売上高は215億52百万円（前年同期比16.1%増加）、構造改革によるコスト削減等の効果により、セグメント利益は16億94百万円（前年同期比134.0%増加）と増収増益となりました。

② 北米・中南米

取引先自動車メーカー各社からの受注の増加により、売上高は124億69百万円（前年同期比51.5%増加）、セグメント利益は3億89百万円（前年同期は50百万円のセグメント損失）となりました。

③ 中国

取引先自動車メーカー各社からの受注の増加により、売上高は30億15百万円（前年同期比21.3%増加）となりましたが、費用の増加により99百万円のセグメント損失となりました。

④ アジア

インドをはじめとする東南アジアにおける自動車市場は引き続き堅調に推移し、売上高は48億65百万円（前年同期比9.3%増加）、となりましたが、タイ洪水被害や円高による為替等の影響を受け、セグメント利益は2億51百万円（前期比49.0%減少）となりました。

⑤ 欧州

取引先自動車メーカーからの受注が増加したことにより、売上高は19億46百万円（前年同期比29.6%増加）となりましたが、費用の増加により、3百万円のセグメント損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は702億20百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億48百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少18億32百万円、売上債権の増加2億95百万円、たな卸資産の増加6億29百万円、有形固定資産の増加5億32百万円、繰延税金資産の増加3億56百万円等であります。

負債合計は350億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億94百万円減少しました。主な要因は仕入債務の減少9億73百万円、未払法人税等の減少12億64百万円、短期借入金の増加16億85百万円、繰延税金負債の増加1億6百万円等であります。

純資産は351億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて46百万円増加しました。主な要因は四半期純利益による増加9億9百万円、配当金支払による減少3億46百万円、その他有価証券評価差額金の減少6億39百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が18億25百万円、減価償却費が18億73百万円、売上債権の増加による資金減が2億87百万円、たな卸資産の増加による資金減が6億14百万円、仕入債務の減少による資金減が10億28百万円、法人税等の支払による資金減が13億2百万円あったことなどにより、6億12百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が24億32百万円あったことなどにより、24億4百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入の増加による収入9億24百万円、長期借入金の増加による収入6億26百万円、配当金の支払による減少3億46百万円などにより、11億70百万円の収入となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末と比較して18億32百万円減少し、93億46百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、円高の継続やガソリン価格の高止まりなど不安材料はありますが、当第2四半期連結累計期間において概ね計画通り推移しているため、平成24年9月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,309	9,477
受取手形及び売掛金	13,105	13,400
商品及び製品	3,223	3,401
仕掛品	2,928	2,904
原材料及び貯蔵品	5,396	5,871
繰延税金資産	953	725
その他	1,079	1,469
流動資産合計	37,992	37,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,495	13,633
機械装置及び運搬具	41,206	42,063
工具、器具及び備品	7,043	7,267
土地	3,957	3,929
リース資産	233	238
建設仮勘定	1,423	1,843
減価償却累計額	△43,605	△44,686
減損損失累計額	△478	△480
有形固定資産合計	23,275	23,807
無形固定資産		
リース資産	115	98
その他	359	526
無形固定資産合計	474	624
投資その他の資産		
投資有価証券	5,187	4,206
繰延税金資産	3,243	3,827
その他	597	509
投資その他の資産合計	9,027	8,541
固定資産合計	32,776	32,972
資産合計	70,768	70,220

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,840	10,867
短期借入金	5,458	7,143
未払金	1,722	1,478
リース債務	87	83
未払法人税等	2,073	809
賞与引当金	800	863
製品保証引当金	169	167
その他	1,455	1,398
流動負債合計	23,605	22,808
固定負債		
長期借入金	1,971	1,884
リース債務	141	121
退職給付引当金	9,751	9,974
役員退職慰労引当金	195	174
繰延税金負債	—	106
固定負債合計	12,057	12,260
負債合計	35,662	35,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	29,655	30,218
自己株式	△476	△477
株主資本合計	35,657	36,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,673	1,034
繰延ヘッジ損益	△37	△5
為替換算調整勘定	△3,717	△3,681
その他の包括利益累計額合計	△2,082	△2,653
少数株主持分	1,531	1,584
純資産合計	35,106	35,152
負債純資産合計	70,768	70,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	35,226	43,848
売上原価	30,691	37,030
売上総利益	4,535	6,819
販売費及び一般管理費	3,599	4,764
営業利益	936	2,054
営業外収益		
受取利息	43	8
受取配当金	41	46
その他	84	27
営業外収益合計	169	81
営業外費用		
支払利息	108	130
為替差損	245	231
その他	25	32
営業外費用合計	378	393
経常利益	727	1,743
特別利益		
固定資産売却益	2	6
受取保険金	—	125
特別利益合計	2	130
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	3	48
特別損失合計	3	48
税金等調整前四半期純利益	726	1,825
法人税、住民税及び事業税	429	740
法人税等調整額	△156	108
法人税等合計	273	848
少数株主損益調整前四半期純利益	453	978
少数株主利益	112	68
四半期純利益	341	909

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	453	978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△478	△639
繰延ヘッジ損益	6	32
為替換算調整勘定	△44	38
その他の包括利益合計	△516	△569
四半期包括利益	△63	408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84	338
少数株主に係る四半期包括利益	20	70

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	726	1,825
減価償却費	1,981	1,873
有形固定資産除却損	3	48
受取利息及び受取配当金	△85	△54
支払利息	108	130
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△6
受取保険金	—	△125
売上債権の増減額(△は増加)	1,777	△287
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,119	△614
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,598	△1,028
その他	954	△440
小計	746	1,322
利息及び配当金の受取額	85	54
利息の支払額	△111	△151
法人税等の支払額	△960	△1,302
過年度法人税等の支払額	—	△659
保険金の受取額	—	125
営業活動によるキャッシュ・フロー	△241	△612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,824	△2,432
有形固定資産の売却による収入	2	144
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
その他	△130	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,959	△2,404
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,039	2,334
短期借入金の返済による支出	△1,894	△1,410
長期借入れによる収入	683	1,273
長期借入金の返済による支出	△818	△647
自己株式の取得による支出	△200	△0
配当金の支払額	△348	△346
少数株主への配当金の支払額	△83	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	378	1,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,805	△1,832
現金及び現金同等物の期首残高	11,939	11,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,134	9,346

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	18,557	8,230	1,502	2,485	4,451	35,226	—	35,226
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	6,091	57	—	314	1	6,463	△6,463	—
計	24,649	8,287	1,502	2,799	4,451	41,689	△6,463	35,226
セグメント利益 又は損失(△)	724	△50	△49	28	492	1,145	△209	936

(注) 1. セグメント利益の調整額には、たな卸資産の調整額等△217百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	21,552	12,469	1,946	3,015	4,865	43,848	—	43,848
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	8,202	47	—	453	23	8,724	△8,724	—
計	29,754	12,516	1,946	3,468	4,888	52,573	△8,724	43,848
セグメント利益 又は損失(△)	1,694	389	△3	△99	251	2,231	△177	2,054

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、たな卸資産等の調整額△45百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。